

Social medical corporation hokuto

★広報誌★

ほくと7

seven

115

VOL.

2023.11

<http://www.hokuto7.or.jp>

友だち募集中!



友だち追加は
こちらから!

特集

危険な頭痛

くも膜下出血について



- 02 「星のひろば」完成・収穫祭開催
- 03 特集 危険な頭痛
- 06 HOKUTO NEWS
- 07 HOKUTO INFORMATION
- 08 市民公開講座のご案内

「星のひろば」完成

自立支援事業部 ガーデナー
庄田 香澄

北斗福祉村構想がまたひとつ実現。

星の庭の花と緑に包まれた新たな地域交流スペース「星のひろば」が完成いたしました。



在宅医療における医療と介護の統合、求められる看取りの実現、リハビリ医療におけるアカデミズムの確立、そして新たなコミュニティづくり（「地域共生社会」）実現にむけて2019年、北斗福祉村ガーデン「星の庭」を舞台に取り組みが始まり五年目。庭の木々の先が赤や黄色に色づき始めた10月、新たに地域交流スペースが完成いたしました。



今後もうこうしたつながり作りの場となれるような様々な企画を実現していきたいと考えております。新施設、「星のひろば」からの情報もどうぞお楽しみに。



北国の冬は雪に覆われている期間が長く、庭の草木は休眠期に入ります。それに伴い、これまで花壇活動を中心に行っていた地域共生活動も植物の休眠期と同時に活動を終えていました。

今回、「星のひろば」が完成したことで、これからは冬季の屋内活動が可能となり、みなさんと冬にしか味わうことができない楽しみもきつと見つけられるのではないのでしょうか。

施設完成後には「星のひろば」にて、近隣幼稚園の年長児27名と食育活動の一環としてピザつくりを行いました。当日は、園児たちが春に「星の庭」へ植えたバジルや、十勝の食材のみを使用したピザを窯で焼き、出来立てをみんなで食べました。「星のひろば」はこどもたちの笑顔や笑い声でいっぱいとなり、スタートにふさわしい一日となりました。

北国の冬は雪に覆われている期間が長く、庭の草木は休眠期に入ります。それに伴い、これまで花壇活動を中心に行っていた地域共生活動も植物の休眠期と同時に活動を終えていました。

今回、「星のひろば」が完成したことで、これからは冬季の屋内活動が可能となり、みなさんと冬にしか味わうことができない楽しみもきつと見つけられるのではないのでしょうか。

「星の庭」収穫祭開催／9月16日(土)

ここ数年、コロナ禍で制約がありましたが、ようやく北斗福祉村「星の庭」で収穫祭を開催することができました。庭で収穫した野菜を使った料理や、帯広北高校吹奏楽部の迫力ある演奏と、チアリーディング部の元気いっぱいのパフォーマンスが、来場者の皆さんを楽しませてくれました。今後もコミュニティの活性化を含め、日常に彩りを加えられるようなイベントを企画し取り組みを進めていきたいと思っております。



危険な頭痛

特集

くも膜下出血について

脳神経外科副部長 有馬 大紀



インタビューの様子を動画でチェック!



頭痛について

一言に「頭痛」といっても原因は様々であり、脳神経外科の観点から考えた場合、「二次性頭痛」か「三次性頭痛」かの診断が重要になってきます。

「一次性頭痛」とは、脳や頭蓋内の病気に起因しない、いわば「体質的」な頭痛で、緊張性頭痛や偏頭痛などがそれにあたります。これらの頭痛は、「数週間前からなんとなく痛い」「数年前から時々痛む」など症状が慢性的で、緊急性がないことがほとんどです。一方で、髄膜炎や、くも膜下出血といった脳や頭蓋内に疾患が発生したことによって生じる「二次性頭痛」は、適切な治療が行われないと今後の生活や生命に関わってくることもあるため注意が必要です。

この特集で解説する、くも膜下出血は「今まで経験したことのないような頭痛」が「突然」に発生することがその特徴で、激しい嘔吐や意識障害を伴うこともあり非常に重篤な疾患になります。

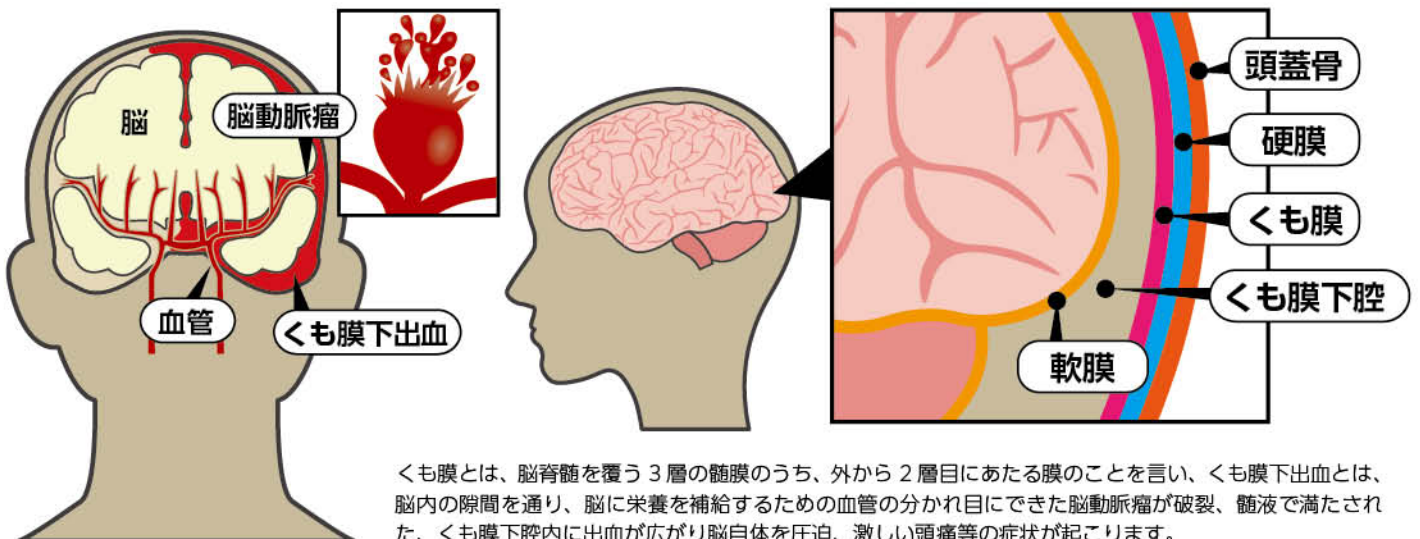
くも膜下出血について

脳と脳の隙間は「くも膜下腔」と呼ばれ、くも膜下腔には脳を栄養する太い血管が走行しています。くも膜下出血のおおよそ8割が、それらの太い血管に発生した動脈瘤が破裂することによって発生すると言われています。また、破裂する直前までは全く症状がなく、破裂した瞬間に勢いよく出血して急激に症状が発生するため、頭痛の症状としては「ハンマーで殴られた」ような突然で重度の頭痛が起きることが特徴的です。

出血の程度によって予後はさまざまですが、発症してしまうと1/3程度の患者様が出血やその他の合併症によって命を落とすと言われる非常に重篤な病気です。また、幸い命を取り留めた患者様でも、約半数の方はなんらかの後遺症が発生すると言われており、脳卒中のなかでも非常に予後が悪い疾患になります。

脳神経外科副部長
有馬 大紀

出身 _____
大阪公立大学医学部医学科
取得認定医/専門医 _____
日本脳神経外科学会専門医
日本脊髄外科学会認定医
脳卒中学会専門医
脳血管内治療学会専門医
所属学会 _____
日本脳神経外科学会
日本脳卒中学会
日本脳血管内治療学会
日本脊髄外科学会



くも膜とは、脳脊髄を覆う3層の髄膜のうち、外から2層目にあたる膜のことを言い、くも膜下出血とは、脳内の隙間を通り、脳に栄養を補給するための血管の分かれ目にできた脳動脈瘤が破裂、髄液で満たされた、くも膜下腔内に出血が広がり脳自体を圧迫、激しい頭痛等の症状が起こります。



北斗病院HP「脳ドック」をご覧ください

発症前の脳疾患を早く、的確に見つける。症状の出ないうちに「未病の段階で」対応することが、脳ドックという予防医学。



くも膜下出血が起きたらどうなる？

前述の通り、くも膜下出血は、動脈瘤が破裂した瞬間に急激な症状が発生します。「経験したこともないような激しい頭痛」が「突然」発症した場合、直ちに脳神経外科などの専門医療機関を受診することが肝要です。くも膜下出血で病院を受診される方のほとんどは、出血点に「かさぶた」ができて一時的に止血された状態で来院されます。ただし、万が一かさぶたがはずれて再出血を起こすと、さらに病状が悪化して今後の人生や生命に関わるような重篤な症状をきたすことが予想されます。よって、**可及的速やかに出血点を塞ぐための外科的な処置が必要になります。**また、外科処置はあくまで再破裂を予防するための処置であるため、来院時にすでに重篤な神経症状を呈しておられる患者様は、一命をとりとめてもなんらかの後遺症を残しやすくなります。運良く軽症で来院された患者様のなかには、後遺症なく普段通りの生活にもどられる方もいらっしゃいます。

また、外科処置が無事に終わった場合も、くも膜下出血を起こした後の数日〜2週間程度の期間は、「脳血管攣縮」という血管の狭窄が起きやすくな

くも膜下出血の主な症状

- ・激しい頭痛
- ・意識障害 / 視覚障害
- ・嘔吐 / 目眩
- ・失語症 / ろれつが回らない
- ・昏睡状態 / 失神

外科処置後のリスク

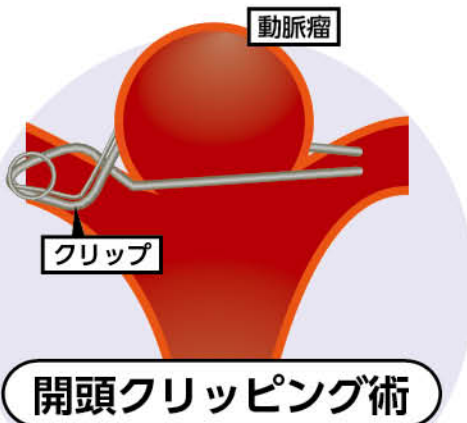
- ・脳梗塞
- ・水頭症

り、脳梗塞が発生するリスクが高い状態となっています。また、くも膜下出血によって脳脊髄液の産生・吸収のバランスが崩れてしまった場合は、数週〜数月の間に「水頭症」という病気を発生することがあります。くも膜下出血を発症した後にはこれらの続発症にも注意が必要となり、状況に応じて手術などを含めた追加の治療が必要になることもあります。

くも膜下出血は予防できる？

動脈瘤自体が脳に影響することはほとんどなく、破裂するまで無症状で経過するため、くも膜下出血を体調の変化や血液検査などで予見することは困難です。一方で、くも膜下出血は動脈瘤などの異常な血管を基礎として発症する疾患であるため、それらの病変が存在しなければ、くも膜下出血を起こすリスクは極めて低いといえます。よって、**脳ドックなどの検診事業を活用して脳動脈瘤の有無を確認することで将来の、くも膜下出血のリスク評価を行うことが可能です。**

脳動脈瘤自体は検診を受けた患者様の1〜数%程度で発見されると言われており、それほど珍しい疾患ではありません。四十〜五十代・女性・くも膜下出血の家族歴がある方などに発見率が高いと言われており、もし心当たりのある方は脳ドック検診を受けていただくことを考慮されてもよいかもしれません。



脳動脈瘤を根本からクリップで挟み、破裂や出血を止める治療法で、電子顕微鏡を使用し、小さな開頭範囲で手術が可能です。手術は全身麻酔でおこなわれ、所要時間は数時間です。



MRI(断層写真)の画像(上)とMRA(血管撮影)の画像(下)

危険な頭痛

特集

くも膜下出血について

脳動脈瘤の発生する過程



脳動脈瘤は血管の分かれ目などにできる「こぶ」のことをいいます。こぶの形がいびつなほど破裂の危険性が高くなるといわれています。

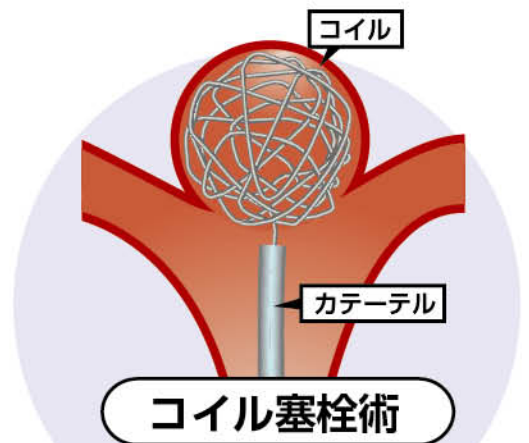
未破裂の脳動脈瘤が発見されたら？

脳動脈瘤が存在すること自体で脳に悪影響を及ぼすことはほとんどありません。また、未破裂で発見される脳動脈瘤の大半は、1年間の破裂率が1%未満のような低リスクのものとなります。このような破裂率が低そうな脳動脈瘤に対しては、まずは経過観察で様子を見るのが妥当と考えられます。しかし、発見される脳動脈瘤の中には大きさ・場所・形状によって、1年間の破裂率が1%〜数%以上のリスクを有するものもあります。

このような脳動脈瘤に対して、手術の合併症リスクより破裂リスクのほうが高いと判断された場合、患者様とよく相談したうえで外科的な破裂予防処置を行うことがあります。

未破裂脳動脈瘤・くも膜下出血に対する外科治療

脳動脈瘤に対する外科治療は、未破裂の場合も、くも膜下出血の場合も、脳動脈瘤内への血流を遮断することで再破裂しないようにすることが目的となります。主な方法としては、脳動脈瘤の根元にクリップをかけて血流を遮断する「開頭クリッピング術」と、脳動脈瘤



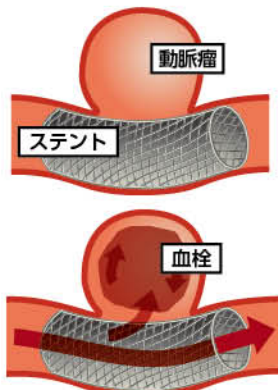
開頭手術せずに脳動脈瘤にコイルを詰める治療法で、造影画像を見ながら治療をおこないます。充填された後には徐々に血栓が発生し、破裂を防止します。

の内部にコイルを詰めて血流を遮断する、「コイル塞栓術」があります。前者は名前の通り頭蓋骨を開いて、血管や脳動脈瘤を直接観察し血流を遮断します。後者はカテーテルを脳動脈瘤の中まで誘導して金属性のコイルを詰めることで血流を遮断します。それぞれの手技に長所・短所があるため一概に効果を比較することは難しいのですが、年齢・血管の構造・脳動脈瘤の場所などを総合的に勘案しつつ、患者様に最も適していると思われる方法を脳外科スタッフで話し合いながら治療方法が決定されます。

フロアダイバーター

あまりにも巨大な脳動脈瘤については開頭手術では合併症率が高く、コイル塞栓では治療効果が乏しいため、い

フロアダイバーターによる脳動脈瘤の治療方法



血管内にステントを留置し、脳動脈瘤内に流入する血液量を減少。血液が血栓化することで破裂を防ぎます。

まとめ

くも膜下出血は発症することで人生を変えてしまうような重篤な疾患ですが、脳ドック検診などを有効に活用し、適切な治療を実施することで予防もできる疾患です。当院ではこれからも検診事業・医療を通して、皆様の健康を守ってまいります。

この方法でも満足のいく治療の達成が難しいことが知られていました。しかしながら、近年では、フロアダイバーターという医療機器が導入され、今までは治療が困難であった巨大な脳動脈瘤にもカテーテルでの治療が可能となってきました。

また、フロアダイバーターは通常の脳動脈瘤にも有用であることが証明され、その適応はますます広がってきています。当院でも2023年3月より採用を開始し、ますます多くの患者様によりよい治療を提供できるよう、日々研鑽をすすめています。

Tokachi Rehabilitation Seminar

十勝リハビリテーションセンター 理学療法科 主任 高橋 良輔

令和5年10月6日に北海道ホテルにおいて、Tokachi Rehabilitation Seminarを開催しました。今回は「脳卒中予後予測ー過去・現在・未来ー」というテーマで小野圭介先生（リハビリテーション部 理学療法科 科長）と、脳卒中予後予測の研究で著名な小山哲男先生（兵庫医科大学 医学部 特別招聘教授）にご講演いただきました。

小野先生からは当院で行っている、AIを用いた予後予測の活動についてお話し頂きました。また、小山先生からは脳卒中予後予測に関する過去の知見を丁寧に解説して頂

き、他にも脳画像解析を含めた今後の予後予測の展望までご説明下さいました。書籍などで紹介されている内容を細かく解説して頂いたこともあり、脳卒中の予後予測に関する過去から現在までの流れについて理解できる貴重な講演になりました。

当日は対面・Web合わせて159名の方がご参加くださいました。ここ数年間はこのような対面を含めた講演会が出来ていませんでしたが、無事に開催でき安堵しております。お忙しい中ご参加下さいました皆様、誠にありがとうございました。



小野 圭介先生



小山 哲男先生



民間医療機関で国内初、BMI導入

十勝リハビリテーションセンター 作業療法科 主任 荒 洋輔



十勝リハビリテーションセンターの先進リハビリテーション推進室にBMI装置（ブレインマシンインターフェイス：LIFESCADES機能訓練用BMI（手指タイプ）、LIFESCADES社製）を導入しました。民間の医療機関においては、国内初の導入となります。

BMIは手を動かさそうイメージする時の脳波信号と手に装着した電動装具を連動させ、正しい脳波が出現すると手の装具が動いてくれます。これにより、手が動かせない患者さんでも手の練習を反復して行うことができます。過去の報告より、BMIの練習

を反復して行うことで、手を随意的に開くことが出来るようになりますと期待されています。先進リハビリテーション推進室では、BMI以外にもロボットや電気刺激など様々な上肢機能練習を行う装置が導入されており、患者さんの手の回復段階に合わせた練習をご提案させて頂いております。それにより効果的なりハビリテーションを提供し、患者さんの更なる機能回復に挑戦しております。



民間の医療機関では国内初の導入となったBMI



NEW FACE 新入職のご挨拶



歯科 武田 雅彩
MAAYA TAKEDA

略歴 出身
北海道大学 歯学部卒
所属学会
日本老年歯科医学会
日本補綴歯科学会

3月に北海道大学大学院歯学院で学位取得後、半年ほど育休としてお休みをいただきまして、9月から勤務させていただいております。皆様のお口の健康をサポートできるように努めます。これからよろしくお願い致します。

アプリの利用でもっと便利に



NOBORI - 医療情報管理アプリ

医療情報を、みんなの手に。

NOBORIで
できること

- 検査画像
- 家族で共有
- 検診結果
- 再来受付
- 通院履歴
通院予定通知
- 薬の履歴
- 後払い

ご利用方法について

STEP 1
アプリをインストール

STEP 2
① 利用者登録
② 医療機関登録
北斗病院・北斗クリニック・十勝リハビリテーションセンターを登録

STEP 3
医療機関の窓口で
本人確認

北斗病院

北斗クリニック

十勝リハビリテーションセンター



NOBORIアプリダウンロードはこちら→



待ち時間のストレスから解放!
FREE
CREDIT CARD
後払いサービスの利用で
会計待ち時間無しに

注1) 本人の医療情報のみの提供となります。注2) アプリで利用者登録完了後、受付窓口での本人確認が必要となります。



Sma-pa スマパ - 診療・診察待ちアプリ

診察の順番がスマホでわかります

待合番号
モニターの
情報を表示。

ご利用方法について

STEP 1
アプリをダウンロード

STEP 2
北斗病院
北斗クリニックを選択

STEP 3
「待合番号」を選択



患者様のメリット

待ち時間を有効活用



患者さまは外で自分の診察番号を確認できるので好きな場所で好きなように診察までの時間を使うことができます。

病気の感染予防



風邪やインフルエンザにかかった可能性のある患者さまとの接触を最低限にすることができます。

ダウンロードするだけですぐ使える

北斗病院

北斗クリニック



スマパアプリダウンロードはこちら→



市民公開講座



座長

北斗病院副院長
整形外科主任部長
膝・股関節センターセンター長

石田 直樹 先生

入場
無料

社会医療法人 北斗
Social medical corporation

演題 1

中高齢者の肩の痛み



その
肩の痛み、
ほんとに
五十肩？

講師

肩関節センターセンター長
木村 明彦 先生
15:05～15:35

怖い
神経痛と
怖くない
腰椎手術

講師

脊椎脊髄外科専門医
松盛 寛光 先生
15:40～16:10

演題 2

腰部脊柱管狭窄症



講座終了後～お悩み相談会開催 16:10～16:30

公開講座終了後、同会場におきましてご参加いただいた方を対象に「お悩み相談会」を開催いたします。
「肩」や「腰」に関するお悩みやご質問に、講師の先生がお答えします。お気軽にご参加ください。

場所

北海道ホテル
帯広市西7条南19丁目1番地

日時

11月23日(木)
15:00～

参加申込

北斗病院
コールセンター
☎0155-
48-8000(代)

共催



社会医療法人 北斗
北斗病院・十勝リハビリテーションセンター

Smith+Nephew
スミス・アンド・ネフュー(株)

配信視聴
お申し込み先

11月22日(水)
締め切り

今回の公開講座は、会場の他にZoom(ウェビナー)でも配信します。
右のQRコードからお申し込みください。(視聴のみとなります)



★広報誌
★奇数月発行
ほくと
VOL.115
11月号
2023年

2023年11月15日発行

発行:社会医療法人北斗
発行人:鎌田 一

責任者:久保田 亨
編集長:伊藤 慎

〒080-0833 帯広市穂田町基線7番地5
☎0155-48-8000 FAX0155-49-2121